



JAPAN EAST REGION

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
The International Association of Y's Men's Clubs



Change! 2022 ニュース

No. 9

Change! 2022 推進委員会 2020. 3. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「ハードル高いって知ってます？」

Change! 2022 推進委員・クラブ会長

深尾^{きょうこ}香子 (東京多摩みなみ)



ワイズメンズクラブほど、心・技・体の健全と、視野の広狭を問い、入会するに当たって覚悟を迫る団体は無い。と私は考えている。1995年(阪神・淡路大震災)を日本のボランティア元年と考える人が多いと聞かすが、今、私

が世話人をしている地元のボランティア連絡会にも30団体が名を連ね、厚志の方々がミッションを掲げて活動をしている。聴けばそれぞれ素晴らしいと思う。学ぶところは多い。だが「目の前の成果がすべて」の彼らと、ワイズの活動とは違うのである。だから、彼らをワイズには誘えない。

これまでの活動の中で、何人もの素晴らしい先輩ボランティアに出会ったが、事業を無事に終え、散会する頃になって初めて、何かの宗教を学んだ人、或いは宗教学校出身者であったことを聴くことが度々あった。彼らは、誠実で、控えめで、それでいて強い意志と実行力を持ち、リーダーシップを発揮して見せてくれた。その度に、育った環境は違っても、一瞬にして同じ目的に向かって手を握り、目的へ邁進できることに喜びを感じたものである。これは自己犠牲を善とする考え方だけでは足りず、たとえ目に見えなくても、知り得た情報を元に考え、相手を思い遣る豊かな想像力が尊重される世界である。我々に置き換えれば、キリスト教ではどう考え、どんな行動をするのが望ましいのかという「知識」と「経験値」のみが必須で、実際、彼らが何かに向かって祈っていたことは見たことがない。

さて、発足3年目を過ぎた我らが多摩みなみクラ

ブは今、Change! 委員会の力を借りて、1. より良いクラブ運営のため。2. 一人ひとりが心から「楽しい」と思えるクラブライフのため。に、皆の力を結集しようとしている。ウチの場合、会員構成はほとんどがサラリーマンで、現役が半数を上回る。受洗者は半分よりやや少なめである。こういう環境では、本業・家計からワイズライフのための必要経費を捻出することは難しい、という思考が生まれる。「じゃあ、みんなで稼げばいいんだね。」メンバーの声は明るい。仲間としての強い信頼は、時に本当の家族をも超える。これが他団体にはない魅力なのだ。

我々のほとんどはボランティアの経験が無く、ワイズメンズクラブ、否 YMCA すら知らずにチャーターを経て今日に至る。牧師の説教など受けたことも無い。そんな面々が、縁有って、奉仕の面白さ、奥深さに気づくことが出来て、新たな仲間づくりに向かって、初めの一步を踏み出す準備が、ようやく、ようやく出来つつある、というのが今の姿。目に見えぬ地球の裏側の子どもたちを助けたいと思うとか、誰かに向かって自信をもって活動を紹介するには、まだまだ時間がかかる。友人、仕事仲間、幼馴染、家族と、歩んで来た道を振り返る時、ボランティアとは無縁であった自分には同じような人脈しか見つからないのが現実である。親密になればなるほど益々ハードルは高い。

これらを学ぶには、縁の無い者には教会というところは怖すぎてイケナイ(笑)。故に、新人はワイズ活動の中でこそ自然に学べるのが良い。先輩方には根気よく、根気よく導いて下さることを懇願するし、今後新人が増えれば尚、カッコイイ背中を見せて頂きたいと思う。

◀ 深尾香子さんのプロフィール ▶

大阪、香里ヌヴェール学院(旧、聖母女学院)卒
2016年7月 東京多摩みなみクラブチャーター会員
2017年7月 東京多摩みなみクラブ会計
2018年7月 東京多摩みなみクラブ会長〜

▼ クラブ インタビュー

やれば何でもできる!! シニア中心のクラブ

横浜つづきクラブ 鈴木 茂さんへのインタビュー



▼クラブのメンバーの概要を教えてください。

「現在、担当主事を除くと男性 8 名、女性 9 名、合計 17 名で平均年齢は約 76 歳です。夫婦ともメンバーになっているのは、休会中の一人を入れると 5 組です。」

▼例会などについて教えてください。

「月 2 回、本例会と事務例会(役員会)で、いずれも全員が出席義務者になっています。平均出席率は 85%前後です。本例会は、全員自宅から 1 時間以内にある都筑区の社会福祉協議会拠点『かけはし都筑』で行っています。両例会とも食事はなく、例会後に近所の居酒屋等で会食懇親会を行っています。」

▼例会を除く活動の概要を教えてください。

「①『You & I コンサート』障害者とともに楽しむクラシックコンサートで年 1 回、今年で第 10 回目。来場者は障害者を含めて約 400 人。わがクラブが中心となって横浜 YMCA、地元の 4 つの NPO 法人と共に運営委員会を組織し、横浜市教育委員会、都筑区社会福祉協議会の後援を受けて開催。」

②『東日本大震災被災地支援活動』津波で被災した宮城県亘理郡山元町の特別養護老人ホームと保育園に年 1 回、2~3 名のメンバーが慰問訪問。石巻広域クラブ、仙台 YMCA や東京グリーンクラブ、東京武蔵野多摩クラブの皆さんにもお手伝いをしていただいています。上記 2 つの施設及び南相馬市の「原町こども園」の園児、入居者

へ毎月 20 枚ほど手作りのお誕生日カードを女性メンバー TKB(つづきの可愛いばあちゃん【写真】)が作成、送付。



③ 都筑区内にあるグループホームにおいて、8 年前から月 2 回(男女チームが各 1 回)の夕食作りと週 1 回の送迎ボランティア。

④ 社会福祉協議会に加盟しており、同協議会が主催する会合に担当者が出席して地域奉仕活動に参加。」

▼ワイズと教会との折り合いについていかがですか。

「17 名中 14 名が教会員ですが、活動がバッティングするときは、ワイズの奉仕活動にある程度の人数を確保するように相談して対応しています。」

▼YMCAとの関係についてお聞かせください。

「7 名が横浜 YMCA の役員・委員として運営に参加。YMCA のイベントには欠かさず参加。2 月の本例会は北 YMCA のスタッフとの交流懇親会とし、12 月の本例会は横浜 YMCA のクリスマス祝会に合流。」

▼活発な活動の源泉と今後の課題はいかがですか。

「私の個人的な意見では、メンバーの大半が高齢者ですから、無理せず、お互いに思いやり、いたわり合っていて、優しさのあるクラブ作りにつとめることが活動を長続きさせる秘訣だと思います。今後の最大課題は会員増強と理解しています。定年後の 60 歳~70 歳が狙い目と考えます。クラブ員としてアタックしたいと考える人をリストアップし、一覧表にまとめ、担当者や勧誘方をクラブとして検討し、毎月の事務例会でフォローする方式を考え、2022 年にはメンバーを 20 名とし、その平均年齢を現状水準に留めればと考えています。」

▼会員増強の観点から、ワイズ活動とクリスチャニティーとの関係をどのように考えていますか。

「ワイズ活動の基盤を国際憲法が掲げている通り、キリストの教えの実践に置くことに賛成します。しかし、ワイズの活動の基盤をキリスト教に置くことと、例会等の形式として聖書朗読や祈祷等の礼拝要素を採り入れることは、全く別個の問題であると思います。特に会員増強に真剣に取り組むのであれば、新規クラブであれ、既存クラブであれ、キリスト教になじみの薄い日本社会では、例会形式の宗教的要素はできるだけ排除することが望ましいと考えます。」

▼ありがとうございました。

これだけの活動をシニア中心のクラブで可能にしているのは、毎例会後の十分な交流による素晴らしいチームワーク、静かな穏やかなしっかりしたリーダーシップ、全員がそれぞれの事業を心から理解している、特定の人への負担(時間、体力、金銭)がかからないように全員で活動を分担している、時間、経験、財力、やさしさなど、高齢者の強みとなる点を大いに活用している、などなどが考えられます。「クラブの財政は会費だけではきつ、スマイルなどの奨励をしています」とのこと。

シニア中心のクラブが多くなっている現在、大いに参考になるような気がしました。物事はやりようで、だれでも何でもできるような気になってきました。

やれば何でもできる!! シニア中心のクラブ!

(インタビューアー: Change! 2022 ニュース編集委員 藤井寛敏)

▼ 新入会員からのメッセージ

▽ 奥平 直子さんのメッセージ ▽

熱海クラブ 2019年7月入会



2019年7月ラスカ熱海店への転勤を機に入会させていただきました。

私の入会経緯はラスカ熱海店前任店長からの引継ぎという、何とも事務的な話で申し訳ありませんが、熱海市内で活躍されている皆さまとの交流のため参加させてい

いただきました。

入会から5カ月(2019年12月現在)が経過し、ようやく皆さまの取り組んでいらっしゃる活動内容を理解し始めたというのが正直なところです。理解を深める程に自分自身の住まいも遠く、仕事も不慣れな状況で、皆さまのお役に立てない心苦しさはありますが、熱海市にお世話になっている一員として、引き続き参加させていただきたいと思っております。

ワイズに参加して感じることは、皆さま非常に前向きで人生を楽しんでいらっしゃる方が多いということ。皆さま方の楽しそうな顔を拝見すると、それだけで元気をいただけますし、それが何よりワイズの活動自体が元気の源泉となっているのではないかと推察いたします。

生涯現役で楽しく歳を重ねていらっしゃる諸先輩方を見習って、自分もそうあるように、このご縁を大切にしていきたいと思っております。なかなかお力になれず申し訳ありませんが、皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

▼ クラブ・ブリテンより

7度目の年男から見た世界とワイズ

青木 一芳 (千葉)



私がワイズマンに(千葉クラブの創立会員として)なったのは、3度目の年男の年、国際協会創立50周年の1972年でした。その後色々役を務め、4度目の年男の1984年に旧日本区の次期理事となってカナダ東部へBF代表の旅、5度目の年男の1996年には

3年間の国際会長トロイカをちょうど終え、もうこれで24年間のワイズ歴は卒業したと感じたものでした。その後の24年間は一種の恩返しのように、自分の経験を千葉クラブの会報編集や、国際大会の折の同時通訳(解説)

に生かして、奉仕を続けてきました。

今年2020年は7度目の年男。相変わらずコマネズミのように立ち働いていますが、今まで培ってきたノウハウでは、新味を出すのは難しいと感じることが多くなりました。そんなシニアワイズの目から見た世界は、どんより立ち込めた煙霧の広野の所々にチカチカ光が射している、といった風情でしょうか。煙霧とは、将来に希望が持てない若年層と、生活の張りを見失った高齢者とが孤独な群衆となって漂流している状況、光とは、この煙霧に立ち向かい、共に生きる意味を求めようと試みる老若の有志の姿です。

願わくは、ワイズメンがそのような有志の一翼を担うものでありますように。それには、各地のクラブがその地にふさわしいよい活動を起こして、メンバーがそのリーダーとなり、地域の人々に、煙霧の中の光となる意欲を見てもらうことが求められます。私たち千葉クラブの有志は、1995年から10年間、千葉YMCAで国際理解講座という名の楽しい月例勉強会を催し、地域の人々(老若男女、国籍様々)に好評をいただいて、何と百回まで継続するという経験を得ました。今や情報環境が変わり、同じことは成り立たないと思っております。では何ができるか。まさに暗中模索中です。

(横浜とつかクラブ 2020年2月号ブリテンより)

▼ 各部 会員増強事業主査より

「東新部の会員増強事業」

東新部主査 村野 繁 (東京世田谷)



会員増強は、目標会員数を挙げてもその数字を達成できないことは、長年の経験から感じていました。今までがそうですから。そこで、私は地域奉仕活動を通じて仲間を広げて入会者を増やそうと考えています。

3年続いた東新部主管の4部合同「EMC シンポジウム」だが、今年度から東日本区が開くことになり、東新部はまた以前の「フレッシュワイズセミナー」になりました。「新しいワイズの動き」のタイトルで、最近入会したワイズから現況のワイズメンズクラブについて忌憚ない意見を聞くことにしました。東京多摩みなみクラブの石田孝次、滝口恵子、携帯電話参加の深尾香子、東京町田スマイリングクラブの城田教寛、為我井輝忠、松井優希の皆さんです。

入会から3年半から1年半の方々です。「①地域奉仕活動には関心があります。例会の内容に疑問があります。卓話を中心ですが、どうして奉仕活動に関する話し合いをしないのでしょうか？別の日に話し合う必要

はないと思います。②専門家の指導の下、菜園をしている。これから良く売れるニンニクも植えることにした。ファンด์づくりにもなります。これまでも部会、訪問クラブ、バザーでも売れました。③地域で開かれている「健康サロン」に集まる人達に歌声サロンを提供したいと思い、昭和音大が大学としてアウトリーチ事業を展開しているので、知人を介して、声を掛けようとしています。④ワイズに勧誘したい友達がいるが、現役世代で参加できない人が数人います。⑤ボランティア活動に関心があったので、町田 YMCA の「子ども科学実験教室」に参加してきた。クラブの会計を任せられ、いろいろ経験して視野が広がりました。⑥学生にとって会費は高い、ボランティア活動に関心のある学生は沢山います。」等の意見が聴けました。

Change! 2022 シンポジウムでの4つのアクションプログラムは、1) 地域に根ざしたワイズ独特の魅力あるCS活動、2) Facebook などの SNS を活用してのワイズの外向きの情報発信、3) 各種会合のキリスト教儀式の見直し、4) 5名以上の新クラブの奨励です。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 札埜 慶一 (熱海)

2月には、下記の方々が入会されました。(敬称略)

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	宮川 真有	(甲府)	石原 基平
2.	高橋 由紀江	(東京江東)	草分 俊一

▼ Change! 2022 推進委員会よりお知らせ

～Change! 2022 QRコードの使い方～

東日本区ITアドバイザー・Change! 2022 推進委員

大久保 知宏 (宇都宮)

下記の QR コードは、東日本区ウェブサイトにて用意された「入会申し込みページ」と、「5人以上でクラブ立ち上げページ」へ誘導するためのものです。

各クラブのブリテン、メンバーの名刺、入会案内などに組み込んで印刷していただくことで、それを入手された方がスマートフォンで読み込むことで、それらのページにスムーズに行けるようになります。

東日本区のウェブサイトには、QR コードをいつでも保存できるページもご用意しました。あわせてご活用ください。

<https://www.vs-east.or.jp/qr/>

なお、それぞれのページから申し込みをいただいた後のフローは次の通りです。

▼入会申し込み

1. 事務局は申込みの方の住所から、該当する地区の部長、会員増強事業主査へ内容を連絡
2. 部長、会員増強事業主査は該当する住所地、もしくは近くの住所地のクラブ会長にすみやかに連絡
3. クラブ会長は三役、会員増強委員長と協議し、すみやかに申込者に連絡、面接を行う。
4. クラブ会長は結果を部長、会員増強事業主査にすみやかに報告

入会申し込み
QRコード



▼5人以上のクラブ立ち上げ

1. 事務局は申込みの方の住所から、該当する地区の部長、エクステンション委員長へ内容を連絡
2. 部長、エクステンション委員長は、必要に応じて該当する地域にあるクラブ会長と連絡し合う。
3. 部長、エクステンション委員長、該当地域にあるクラブ会長は、すみやかに申込者に連絡、面接を行う。
4. エクステンション委員長は、結果を会員増強事業主任、事務局にすみやかに報告。

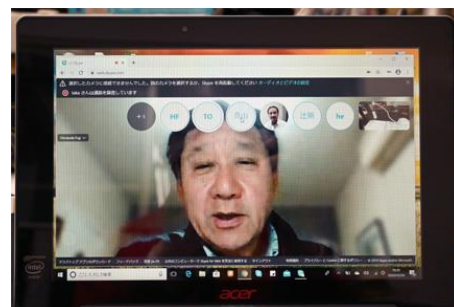
5人以上でクラブ
立ち上げQRコード



▼ Change! 2022 推進委員会 Skype で開催

3月4日(水)午後6時から四ツ谷の東日本区事務所で開催予定だった第9回 Change! 2022 推進委員会は、新型コロナウイルスの影響で中止。同時刻にパソコンやスマホを使って、Skype 会議で行われました。

14名が参加、Skype 初体験の委員も半数ほどいましたが、栗本治郎委員長のリー



ドで用意された議題に沿って協議が進み、上々の成果を上げました。【写真=Skypeの画面】

(Change! 2022 ニュース編集長 伊丹一之)